

揺れる前に知っておきたいこと

地震の影響は、人間の力では100%阻止することができません。
地震に対する正しい知識を持ち、揺れの特性を描いて有効な対策を講じましょう。

地震の揺れは。。

地震発生時の『揺れ』は、

1. 震源地
2. 地盤
3. 地表
4. 建物

の順に伝わります。

地震の揺れの大きさは。。

また、地震の揺れ具合(大きさ)は、

- 地震の規模
- 震源からの距離
- 地盤の硬軟

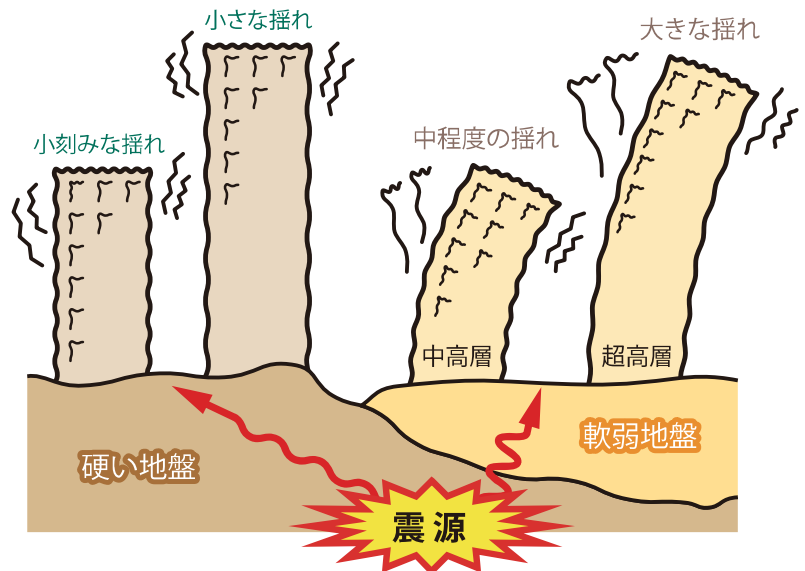
などによって異なります。

建物による揺れの違いは。。

そして地震による、建物による揺れの違いは、

- ビル直下の地盤の性質
- ビルの高さ
- ビルの構造

などの環境条件で異なるといわれています。



オフィスが入居している剛構造建築物（鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造）は、地震波を受けて揺れるのですが、ビルの足元は地面に固定されているので、上層部に行くほど激しく揺れることになります。

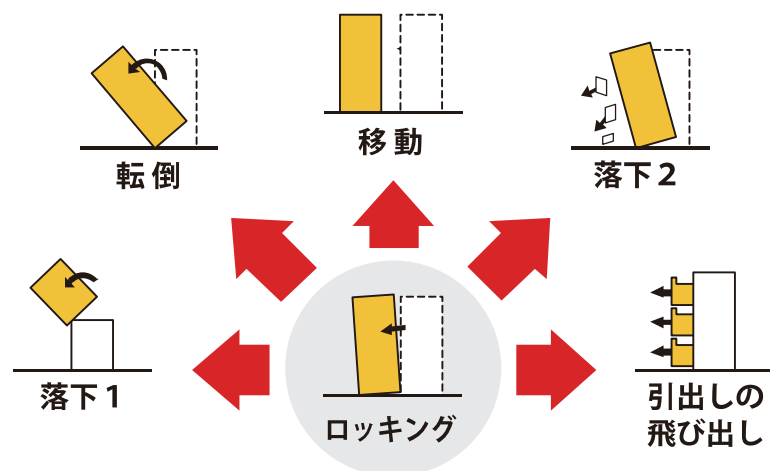
家具の耐震性を検討する。。

室内（オフィス）には、造作物（建物に固定）のほかに、家具・什器など必ずしも固定されていないモノがあります。家具・什器と言えど、必要な地震対策を施す必要があります（これは高層階でとくに重要と言えるでしょう）。

建物(ビル)の安全性は、あくまでも建築竣工時(建てた直後)のものです。

- 部屋のある階数
- フロア・室内レイアウト
- 家具の種類
- 室内の寸法
- 収納物や床の状態

など、オフィスレイアウト完了後の状態で、働くヒトを守る工夫を考える必要があります。



お問い合わせ先 株式会社カミヒサ
大阪市中央区大手通3-4-2
TEL:06-6942-5391

KAMIHISA
e-mail:info2@kaihisa.co.jp

これはやっておきたい! 安心・安全の地震対策

地震はいつ起こるかわかりません。ビジネスアワーに地震が発生する可能性もあるためオフィスにも備えが必要です。震度階級ごとの起こりうる状況(予測)と、オフィスの地震対策のポイントを確認しておきましょう。

↓ 震度階級とオフィスの状態は ... ↓

※ 気象庁の震度階級を参考に作成

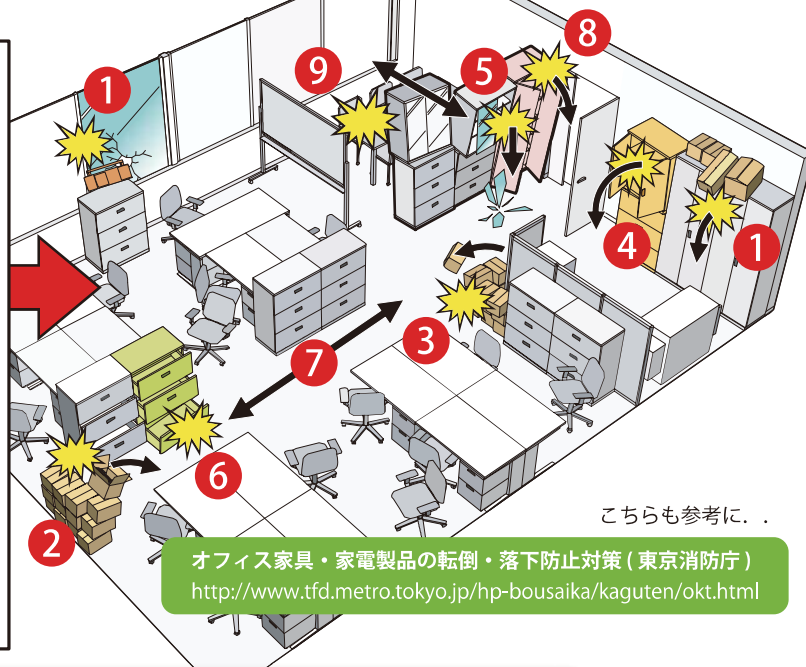
ワーカー	多くの人が身の安全をを図ろうとする。 行動に支障を感じるヒトもいる。	非常に恐怖を感じる。 多くのヒトが行動に支障を感じる。	立っているのが困難になる。	立てなくなる。 はわないと動けなくなる。	揺れにほんろうされ、自分の意思で動けない。
震度階級	5弱	5強	6弱	6強	7
オフィス内	デスクや扉のない収納から物が落下することがある。 座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。	デスクや扉のない収納から多くの物が落下する。 固定されていない収納や重い家具が倒れる場合がある。 一部ドアが変形し開かない。	固定されていない収納や重い家具が倒れる。 開けられないドアが増える。	固定されていない重い家具のほとんどが移動・転倒する。 外れて飛ぶドアがある。	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。 ※避難経路が限定される

↓ 安全なオフィス空間のポイントは ... ↓

家具の転倒防止 と レイアウト

オフィス空間をチェックする!

- 1. 収納家具の上に物を置いている。
- 2. 机の周辺に、段ボール・書類を置いている。
- 3. 通路に、段ボール・書類を置いている。
- 4. 収納家具を連結しないで設置している。
- 5. 主要通路に、ガラス付きの家具を設置している。
- 6. 引出し・扉にラッチ機構のない家具を使っている。
- 7. 通路幅が十分に確保されていない。
- 8. 非常口の近くに、背の高い家具を設置している。
- 9. 背の高い家具を、壁面以外の場所に設置している。
- 10. 定期的な避難訓練をしていない。
- 11. 防災グッズを準備していない。
- 12. 非常時の連絡系統が明確になっていない。



こちらも参考に...

オフィス家具・家電製品の転倒・落下防止対策 (東京消防庁)
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-bousaika/kaguten/okt.html>

レイアウト・家具の耐震対策を検討する!

オフィスの地震対策(レイアウト・耐震工事)を実施しませんか?

お問い合わせ先 **株式会社カミヒサ**
 〒540-0021 大阪市中央区大手通3丁目4番2号
 TEL:06-6942-5391 FAX:06-6947-0886

KAMIHISA
 e-mail: info2@kaminisa.co.jp